



第11回日本モビリティ・マネジメント会議 11th JCOMM

多様な住民参加を可能にした ワークショップの工夫と参加意欲への影響

～岐阜県美濃加茂市をケーススタディとして～

美濃加茂市役所 地域振興課 地域政策係、名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 松本研究室 *Matsumoto Lab*

©田舎の生活

岐阜県美濃加茂市の概要と研究背景

- 地理** 岐阜県中南部に位置 木曾川と飛騨川の合流点
- 人口** 56,074人（平成28年6月1日現在）
- 交通** コミュニティバス「あい愛バス」、東鉄バス、JR東海、長良川鉄道

地域公共交通網形成計画 安全で便利に移動できる公共交通をみんなで育み、 こちよく定住できるまち

策定目的

- ①安心して住み続けるために
- ②コミュニティづくりと安心安全のために
- ③健康増進のために
- ④街なかのにぎわい創出のために
- ⑤環境負荷の低減のために

計画目標

- ①美濃太田駅のアクセス利便性の向上
- ②公共交通相互の乗継利便性の向上
- ③公共交通に関するわかりやすさの向上
- ④公共交通に対する関心を高める

全体目標 便利に移動できる公共交通の確保

住民の協力は欠かせない！！

- ・市民の方に公共交通に対する関心を持ってもらう
- ・公共交通の現状の問題を市民の目線から明らかにする
- ・様々な世代の市民の声を計画に反映する

まあるいまち みのかも みんながそれぞれ役割をもって、誰もが活躍できるまち

「バス」と「まち」を考えるおしゃべり喫茶の開催

開催にあたって工夫した点

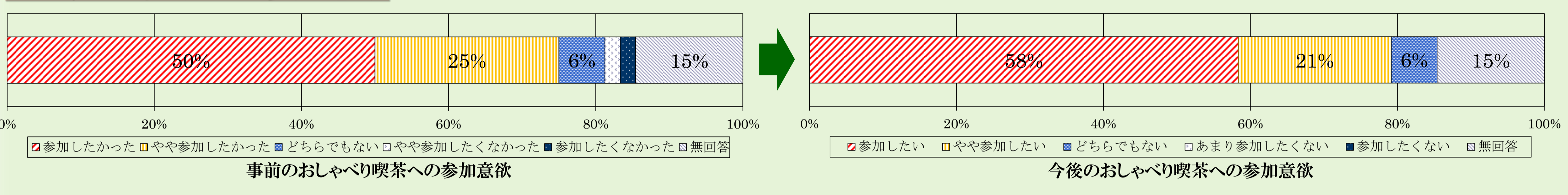
参加者内訳	高齢男性	非高齢男性	高齢女性	非高齢女性	総計	備考
第1回 現状の公共交通の問題点と 美濃加茂市の将来像	12人	4人	36人	13人	65人	
第2回 計画案の説明と「多くの人に使ってもらえる」 「自分が使いたい」公共交通	9人	6人	24人	8人	47人	未回答者1名

- 大学生主体の進行による話しやすい雰囲気づくり
- 飲み物(コーヒー、お茶)やお菓子(地元企業の商品)の提供
- 託児所を設置⇒子育て世代の参加を促進
- シャトルバスの運行⇒自動車を利用できない方の参加を促進
- 親しみやすい会のネーミング



おしゃべり喫茶への参加意欲

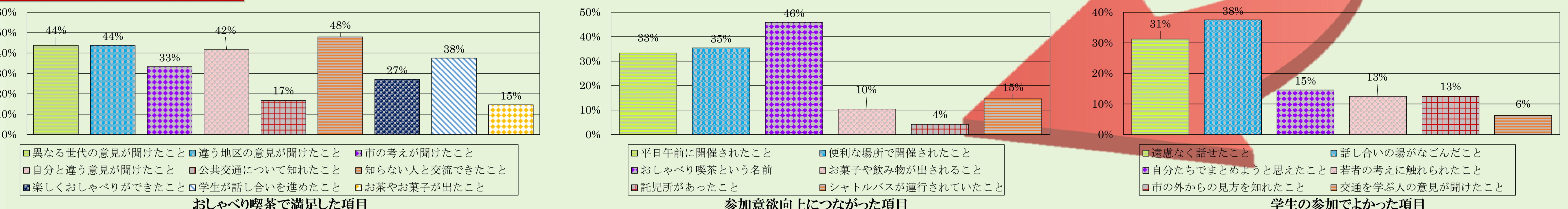
女性の参加多数！



事前の参加意欲よりも
今後の参加意欲の方が**高い！**

参加意欲向上に
つながった要因は？

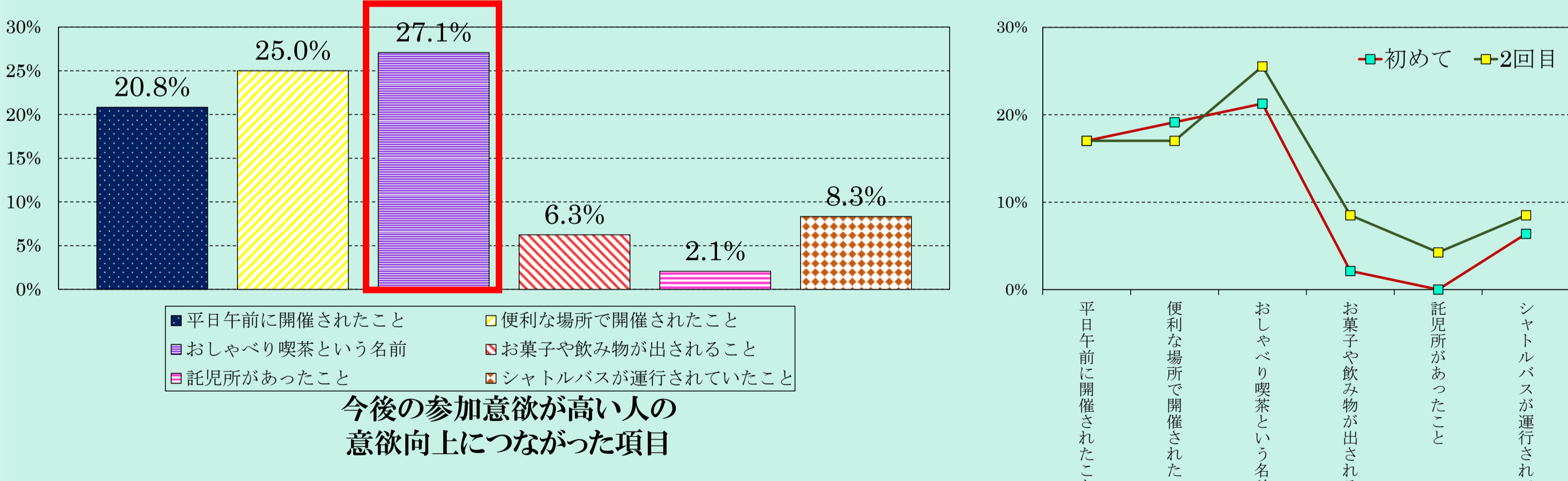
おしゃべり喫茶の満足度



- 2回目のおしゃべり喫茶で満足した項目
 - 2回目のおしゃべり喫茶への参加意欲向上につながった項目
 - 学生の参加でよかったと思う項目
- ⇒ 知らない人と交流できたこと、異なる世代の意見が聞けたこと、違う地区の意見が聞けたこと
 ⇒ おしゃべり喫茶という名前、便利な場所で開催されたこと、平日午前で開催されたこと
 ⇒ 話し合いの場がなごんだこと、遠慮なく話せたこと

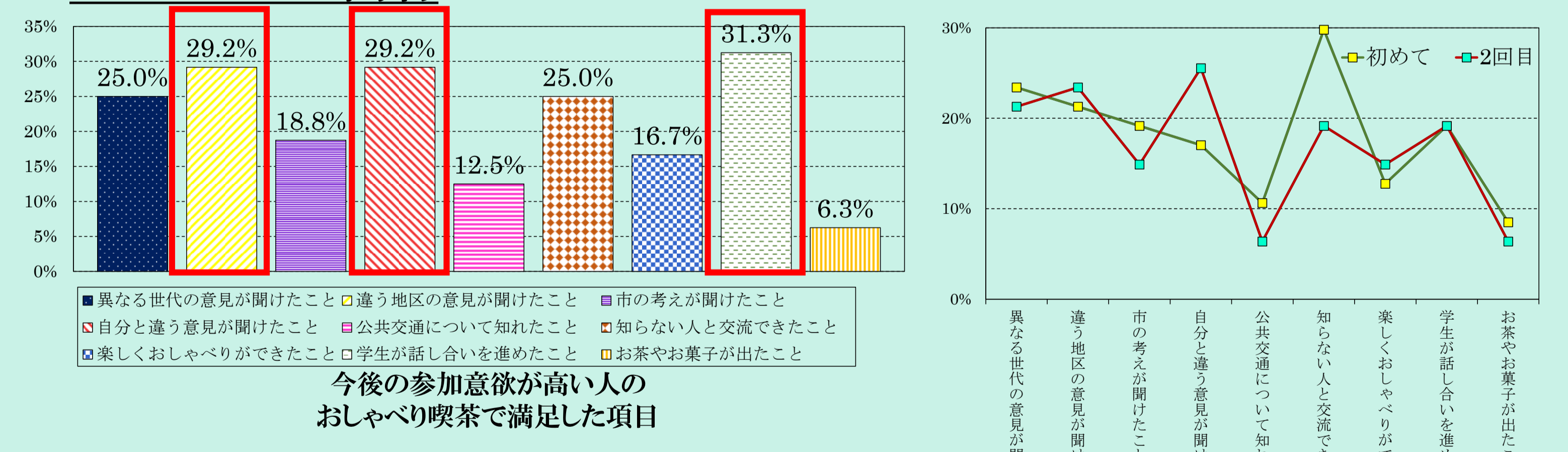
ワークショップの工夫が参加意欲へ与える効果

開催環境



おしゃべり喫茶という名前 ⇒ 参加意欲を向上させる効果あり

ワークショップ内容



学生主体の進行 ⇒ 参加意欲を向上させる効果あり

- 初めて参加する人 ⇒ 開催時間、場所、会のネーミングが効果的
- 継続的に参加している人 ⇒ 会のネーミング、お菓子や食べ物、託児所、シャトルバスが効果的
- 初めて参加する人 ⇒ 公共交通について知れたこと、知らない人と交流できたことに満足
- 継続的に参加している人 ⇒ 違う地区・違う人の意見が聞けたことに満足

まとめ

- 開催環境を整える ⇒ **多様な住民参加を実現！！**
- ワークショップ内容を充実 ⇒ **参加意欲向上に効果的！！**
- 会のネーミングをやわらかくする □ 学生主体の進行
- 各地区から多世代の参加者を集めること

まずは… **気軽に参加しやすい環境づくり** さらに… **多様な価値観との接触** + **話しやすい雰囲気づくり**